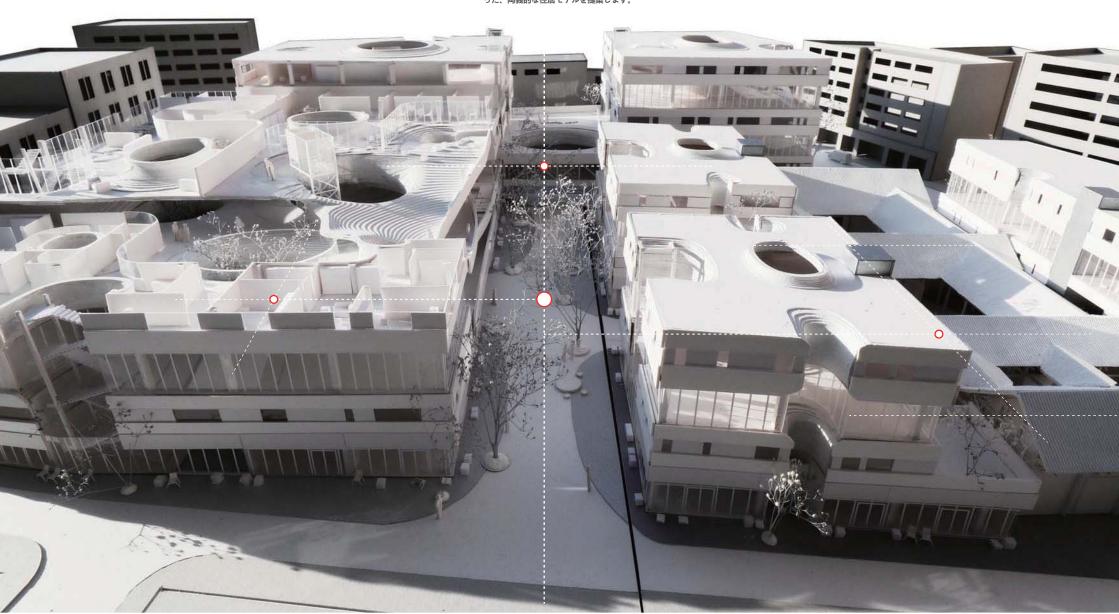
## 成都の反閉鎖住区

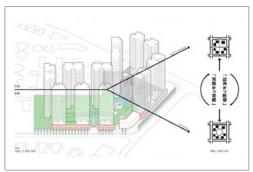
The prototype of the unclosed community in Chengdu

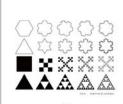
中国の「成都」では、都市の急速なスプロール化に伴い、閉鎖的なタイプの「小区」が大量建設されています。これらの「小区」は、単一機能・巨大なヴォリュームであり、土地の低い使用率・交通渋滞・身体スケールの欠如など、一連の都市問題を抱えています。

これに対して、2016年に政府は、「都市計画と建設の管理意見文」を発令しました。閉鎖的な「小区」が建設されないよう、塀を撤廃し、内部道路を社会資源として活用する開放的な「小区」を主張しました。一方世論調査では、70%の市民が政府の推進する開放的な「小区」に反対しており、社会問題を抱えながらも、市民になじまれた閉鎖的な「小区」が求められています。

市民と政府の対立を乗り越える「小区」が求められています。「閉鎖かつ開放」、「混沌かつ秩序」といった、両義的な住居モデルを提案します。











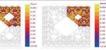
グラデーションの空間システムを生成ルールとし、中国伝統的な住宅空間の原型である「中庭」を媒介(ミディアム)として200m x 200m のブロック内で住区のポリュームを構築して、日照や密度、容積率などを参考要素として試行錯誤します。

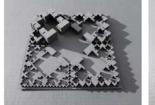
















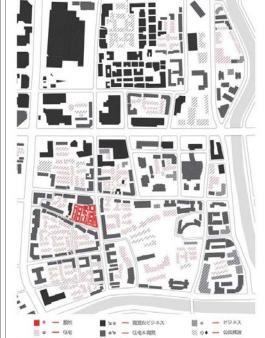






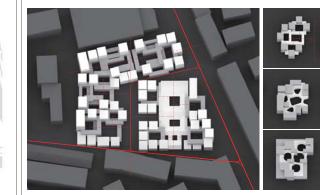


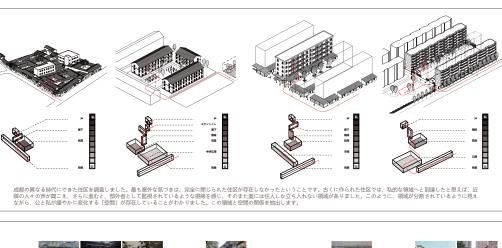


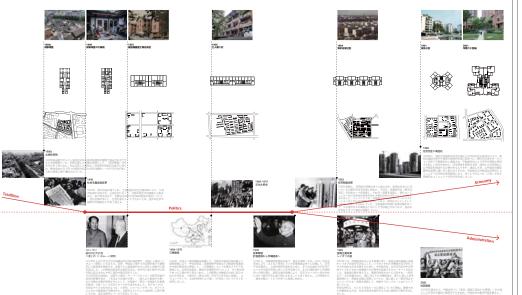








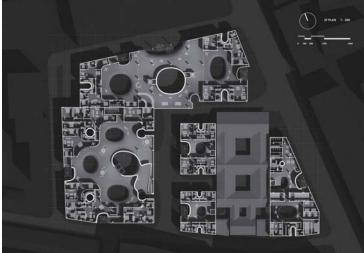


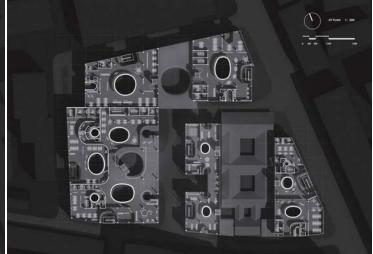


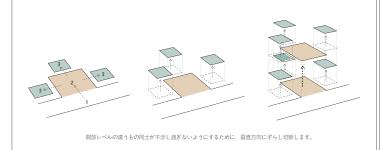


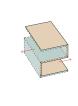








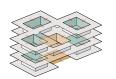


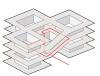














4つのレベルにおいてそれを反復し、[広場]に面する動線を斜めにつなぎ直し、各機能を連続させます。さらに水平垂直でできた空間を3 次曲面に変形していき、異なる開放レベルと機能が切断しながら連続する統一体を形成します。







